

# かわ



久留米市立金島小学校が  
第19回日本水大賞の  
「大賞(グランプリ)」を受賞!

2017.7.1

Vol.234 Contents



わがまちのかわ…………… P1 ~ P3

◎第34回直方市

水防災意識社会再構築ビジョン協議会 … P4

河川愛護月間 …………… P5 ~ P6

安全に楽しく川で遊ぼう!!…………… P7

第1回 災害復旧実務講習会の報告 …… P8

ふくおかの身近な川とさかなを知ろう!! P9 ~ P10

No.39 自然の大切さを伝える新たな手法???

**日本水大賞グランプリ受賞報告会のお知らせ**





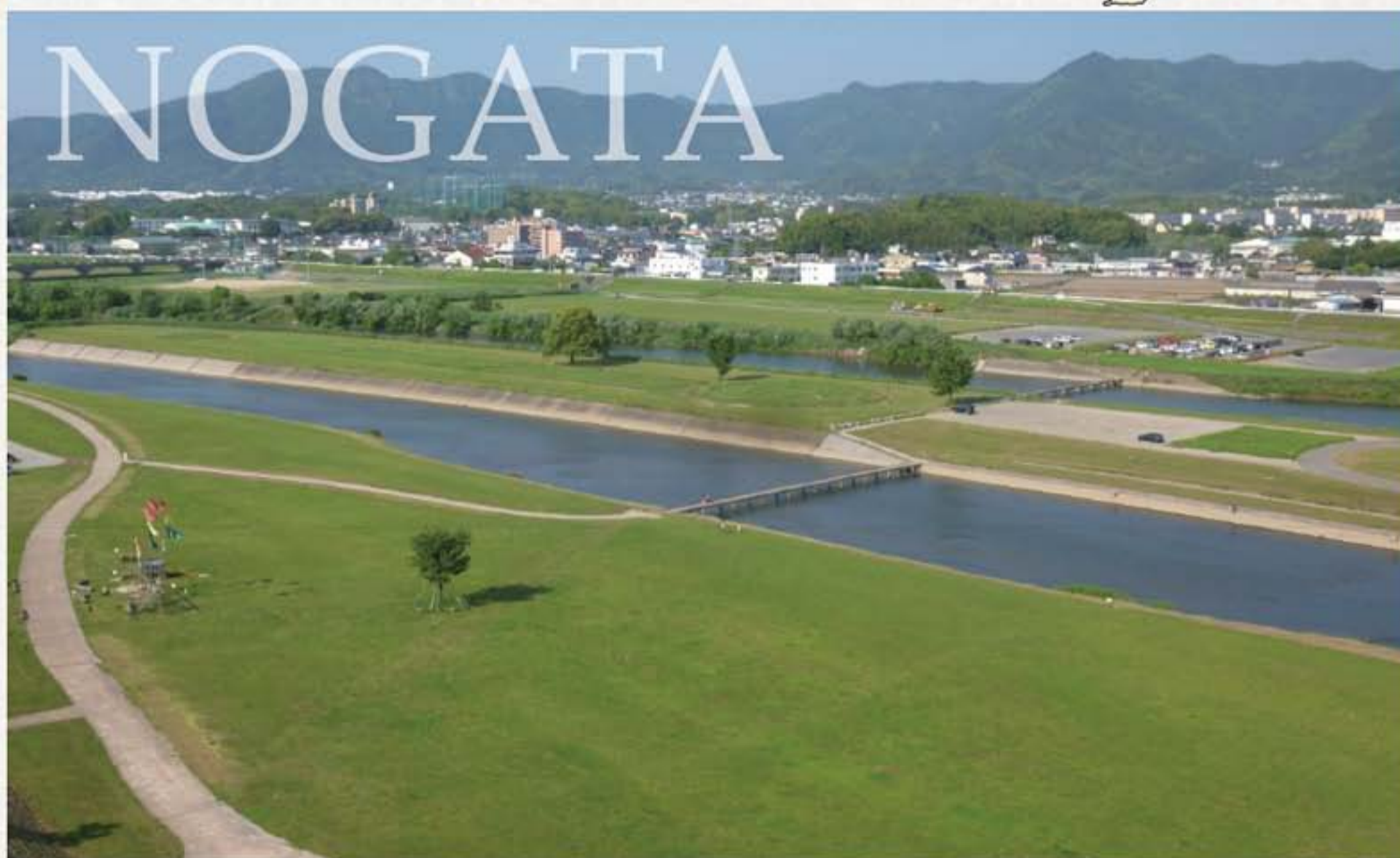
# わがまちの かわ

## 第34回

# 「のお がた 直方市



福岡県



### ■ 直方市の概要と河川

## 市民一人ひとりが輝き 笑顔つながるまち「のおがた」

直方市は、福岡県の北部に位置する人口 57,000 人の小規模な都市で、市の東部全体に、市民から「父なる山」と呼ばれる福智山をはじめとした福智山系の山々が連なる緑豊かなまちです。

そんな本市を流れる川で最も代表的なものが、市の中央を南北に縦断し、市民から「母なる川」と呼ばれ愛されている 1 級河川遠賀川です。この遠賀川に市の中心部で合流する彦山川や、市の北部で合流する犬鳴川なども、本市を流れる代表的な川にあげられます。

これらの川では、春に多くの花が咲き、訪れた方や道行く人を和ませてくれます。また、広大な河川敷の公園やグラウンドは、多くの方がウォーキングやスポーツを楽しむなど、市民の憩いの場として欠かせない存在となっています。

本市では、この雄大な山々や豊かな環境の河川に代表される美しい自然が、市民の大切な財産であるという深い認識のもと、自然環境の保全と景観に配慮した土地利用の推進に取り組むとともに、環境にやさしい循環型社会の構築に努め、市民の誰もが環境に対する高い意識を持った、自然と共生するまちを目指しています。

こんな本市では、以前から大きな悩みを抱えています。それは、「直方」を正しく読んでもらえないということです。県外の方からは「ちょくほう」や「なおかた」と呼ばれ、県内在住の方からも「のうがた」とよく間違えられます。正しくは「のおがた」で、ご存知の方も多くいらっしゃると思いますが、この場をお借りしてご案内させていただきます。



## イベント・観光名所(夏祭り他・竜王峡)

直方のおっ!



竜王峡：  
直方市上嶺野

杉木立と溪流に囲まれ、夏の避暑には最適です。キャンプ施設には、高さ10mの「一の滝」、さらに溪谷を上ると「二の滝」、「三の滝」と三つの滝があります。滝つぼは浅く、子供たちも安心して水遊びが楽しめます。昆虫採集やハイキング、森林浴などもおすすめです。また、溪谷沿いには、宿泊や休憩ができるバンガローがあります。



チューリップフェア：  
市役所前中ノ島

毎年、4月上旬に開催されます。色とりどりの13万球ものチューリップが遠賀川の河川敷に咲き誇ります。遠くに臨む福智山と水辺を彩るチューリップ、満開の桜や菜の花も景色を盛り上げ、春の一大パノラマを満喫できます。期間中は、県内外から約15万人の方が訪れます。



花火大会：  
市役所前河川敷

毎年7月下旬に開催されるのがた夏祭りのイベントです。約6,000発の花火が夜空を飾り、水面に写る花火も見応え十分。長さ1kmに及ぶ名物ナイアガラ、直径250mを超える大玉は圧巻です。

打ち上げ場所と観覧席が近く、臨場感を堪能できます。同日は、追山笠も行われ、祭りを熱く盛り上げます。

## 文化財(史跡・天然記念物)

直方のおっ!



水町遺跡公園：  
直方市上境

古墳時代の墓穴で、砂岩の岩盤をくりぬいた横穴墓が並ぶ様子は壮観です。公園内は、順路が整備され、いつでもご覧になれます。また、4月・10月(第3週目の土日)に近隣市町と合同で開催される「遠賀川流域の古墳同時公開」では、普段見られない墓室内も公開しています。



花ノ木壇の大公孫樹：  
直方市植木

遠賀川を上下して川ひらたで筑豊の石炭を運搬していた船頭たちが、目標物としていた名木で、樹高は28.4m以上あります。夏には、大枝いっぱい青々とした葉を繁茂させ、秋には葉が黄色一色に染まり、季節ごとに鮮やかで壮大な景観を見せてくれます。

## アウトドア・レジャー施設(オートキャンプ場)

オートキャンプ場：  
市役所前河川敷



直方のおっ!

川のせせらぎと、遠くに見える福智山や鷹取山の雄大な姿がご覧になれます。テントサイトは15区画あり、それぞれに芝サイト、駐車スペースが設けられている便利で安全な都市型キャンプ場です。街の中にながら、自然のよさを満喫させてくれる直方市の人気スポットで、ご家族連れなど多くの方にご利用いただいています。

## 農産物直売所

直方のおっ!



なのはな畑：  
直方市植木

施設の目の前を流れる遠賀川河川敷に咲く「菜の花」にちなんで名付けられました。地元産の新鮮な野菜や果実を豊富に取り揃え直売しています。



### 地域防災施設(遠賀川水辺館)

直方のおっ!



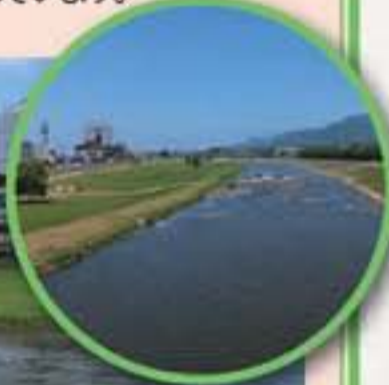
遠賀川地域防災施設  
遠賀川水辺館

まちなかで子どもと  
自然体験

遠賀川水辺館は、遠賀川と彦山川の合流地点にあり、災害時には地域の方々の避難場所や防災活動の拠点となる施設です。平常時は、防災や河川環境学習会など、その周辺の自然とふれあい楽しく学べるプログラムが年間を通じて多くあり、館内には遠賀川にすむ魚などを展示しています。



直方のおっ!



水辺館から一望できる日本一の緩傾斜護岸の「遠賀川直方の水辺」は、目で見て、足で感じて、改めてその雄大さに気付かせてくれる空間です。大学の授業の場であったり、他県からも見学者が訪れる場であったりと、知る人ぞ知る心癒される場所です。この護岸の特徴を活かして、環境教育・防災学習やカヌーなど、大人から子どもまで楽しめる場となっています。



直方のおっ!

「春の小川はさらさら行くよ♪」と水辺館のすぐ隣には、「春の小川」と称したピオトープがあります。様々な自生の樹木・草花が植えこまれたピオトープには、彦山川から汲み上げ浄化された水が流され、水生生物が子ども達の来訪を待つ空間となっています。ここに訪れた子ども達は、様々な体験を通じて、自然や環境の大切さを知り、川での事故を防ぐ方法も勉強しています。また、遠賀川水辺館では、世代ごとに子ども達を育てる活動に取り組んでいます。特に中高生は、環境問題や水問題などに熱心に取り組む、三年に一度開催される「世界水フォーラム」にもこの生徒達が連続して日本代表として出場しています。その他にも、小学生対象の「めだかの学校」や就学前の子ども対象の「キッズLNC」があり、切れ目なく子ども達が参加できるようになっています。以前ここで学んだ子ども達も、今では、立派な社会人として各方面で活躍をしています。この大人達は、河川敷のゴミ拾いなどをしながら、自分たちが跨れる故郷の川「遠賀川」を次の世代により良い環境でバトンタッチできるよう頑張っています。



# 水防災意識社会 再構築ビジョン 協議会について

国土交通省では、平成27年9月に発生した関東・東北豪雨災害を踏まえ、施設では守りきれない大洪水は必ず発生するという考えに立ち、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会再構築ビジョン」を策定しました。このビジョンに基づき、直轄河川ごとに協議会を設置して、減災に向けたハード・ソフト対策を一体的、総合的、計画的に進められているところです。

平成28年8月には、相次いで発生した台風による豪雨災害により、中小河川において甚大な被害が発生しており、「水防災意識社会」の再構築に向けた取り組みをさらに加速させ、直轄河川以外のすべての地域においても、この取り組みを推進していくことが求められました。

これらを踏まえ、福岡県内の県管理河川のみならず、大規模氾濫が発生することを前提として、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的に、4つの協議会が開催されました。

## 水防災意識社会再構築 ビジョン協議会の説明

### 県内設置数・・・4

(福岡・前原、豊前・行橋、北九州・宗像、那珂の各圏域)

### 目的

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づき、水防災意識社会の再構築に向け、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に進める。

### 構成員

関係市町村  
県(県土整備事務所、河川課、防災危機管理局)  
福岡管区气象台 等

### 日程

福岡・前原圏域	5月29日開催
豊前・行橋圏域	6月 2日開催
北九州・宗像圏域	6月15日開催
那珂圏域	5月31日開催

### 協議会の開催状況



福岡・前原



豊前・行橋



那珂



北九州・宗像

### [協議会区分図]





# 7月は河川愛護月間です

福岡県では、毎年7月1日から7月31日までを河川愛護月間と定め、各種事業を実施します。

## ● 広報活動 ●

### ① 街頭広報キャンペーン

県内の、福岡・北九州・久留米・飯塚の4つの地域において、街頭でチラシ等を配ったり、地域のイベントに参加して河川愛護意識の啓発活動を行います。

### ② 懸垂幕・看板の掲示

県庁や県土整備事務所で懸垂幕や看板を掲示し、住民の方に河川愛護を呼びかけます。

7月は河川愛護月間です



## ● 表彰 ●

### ① 河川功労者の表彰

河川の機能保全、河川愛護等に特に力を尽くし、その功績が顕著な個人並びに団体を表彰します。

### ② 河川愛護企業の表彰

河川愛護活動が特に顕著であり、他の模範となる優良企業について表彰します。

### ③ 河川愛護絵画コンクール

河川愛護意識の高揚を図るため、小学校児童による絵画コンクールを実施し、優秀作品を表彰します。



## ● 河川愛護月間事業の様子 ●

河川愛護活動



福岡県庁行政棟にて懸垂幕の掲示



河川協会通常総会にて河川功労者の表彰



ボクと一緒に  
ふくおかの川を  
\*キレイ\*にしよう!!

河川愛護事業  
イメージキャラクター  
よみガエルくん





自分の住む  
街のかわを  
もっと元気に!!

# 河川愛護活動への 参加をお願いいたします。



河川愛護活動とは、活動区間を決めて支援制度に登録していただき、福岡県から支援を受けながら、除草・清掃などの活動を行うものです。

## Q どんな団体・企業が登録できるの？

### A 【河川愛護団体】

- ①福岡県が管理している河川で、組織的・継続的に河川愛護活動を行っている団体
- ②会員数が概ね25名以上
- ③毎年2回程度以上、継続的に活動を行っている
- ④一定区間以上(左右岸併せて250m以上)の活動を行っている

### 【河川愛護企業 (アダプト企業)】

- ①福岡県が管理している河川で、河川愛護活動を行っていただく企業等(企業、農協、漁協等、その他)
- ②毎年2回程度以上の活動を行う
- ③一定区間以上(地域貢献活動評価の申請をしようとする企業は、左右岸併せて250m以上)の活動を行う

### 【河川愛護支援企業 (アシスト企業)】

- ①河川愛護団体や河川愛護企業の行う河川愛護活動を、重機や特殊車両による作業によって支援を行う企業等(企業、農協、漁協等、その他)

## Q どんな支援が受けられるの？

### A 【河川愛護団体】

- ①報償費の支給(1団体につき年5万円を支給します。活動報告提出後支給します。)
- ②需用品の支給(毎年2万円を限度に、軍手・長靴・鎌など活動に必要なものを支給します。)
- ③自走式草刈機の貸出し
- ④傷害・賠償責任保険の加入(活動中の万一の事故に備えて保険に加入しています。)
- ⑤アダプト・サインの設置(活動区間に、団体名・活動内容・区間を記載した表示板を設置します。)

### 【河川愛護企業 (アダプト企業)】

- ①需用品の支給(予算の範囲内で、軍手・長靴・鎌など活動に必要なものを支給します。)
- ②傷害・賠償責任保険の加入(活動中の万一の事故に備えて保険に加入しています。)
- ③アダプト・サインの設置(活動区間が500m以上の場合)

### 【河川愛護支援企業 (アシスト企業)】

- ①傷害・賠償責任保険の加入(活動中の万一の事故に備えて保険に加入しています。)
- ②登録企業の証であるアシストシールの交付

※アダプト企業、アシスト企業は一定の要件を満たした場合、競争入札参加資格審査における地域活動貢献活動の評価対象となります。

## Q どうやって登録するの？

### A 管轄の県土整備事務所(支所)に申請してください。

福岡県土整備事務所 TEL.092-641-6581  
前原支所 TEL.092-322-2961  
久留米県土整備事務所 TEL.0942-44-5505  
南筑後県土整備事務所 TEL.0944-41-5113  
柳川支所 TEL.0944-72-4157  
直方県土整備事務所 TEL.0949-22-5617  
京築県土整備事務所 TEL.0979-82-3351  
行橋支所 TEL.0930-23-1746  
朝倉県土整備事務所 TEL.0946-22-4181  
八女県土整備事務所 TEL.0943-22-6984

北九州県土整備事務所 TEL.093-691-2764  
宗像支所 TEL.0940-36-2005  
田川県土整備事務所 TEL.0947-42-9112  
飯塚県土整備事務所 TEL.0948-21-4934  
那珂県土整備事務所 TEL.092-513-5563

[QRコードはこちら!]



詳しくは

福岡県 河川愛護活動

検索





# SAFE & FUN!

## 安全に楽しく川で遊ぼう!!

近年、「ゲリラ豪雨」とも呼ばれる局地的集中豪雨によって水害、水難事故が全国各地で発生しています。川は、学び行動する場として非常に優れた場所ではありますが、その一方で、急な川の増水など危険が潜んだ場所でもあります。このような川を安全に利用していただくために、福岡県では、平成21年度より毎年、子どもを対象とした「ふくおか水辺の安全講座」を開催しています。今年度も引き続き開催する予定ですので、詳細な内容が決まり次第、募集のお知らせをいたします。

### 平成28年度の開催状況

昨年は7月から8月にかけて、6箇所で「ふくおか水辺の安全講座」を開催しました。

No.	開催日	曜日	河川名	施設	市町村名
1	7月25日	月曜	那珂川	那珂川中学校	那珂川町
2	7月26日	火曜	宝満川	小郡市野球場	小郡市
3	7月31日	日曜	萩川	萩郷小学校	みやこ町
4	8月1日	月曜	釣川	玄海B&G海洋センター	宗像市
5	8月2日	火曜	矢部川	黒木西小学校	八女市
6	8月5日	金曜	紫川	勝山公園グリーンエコハウス	北九州市

### 開催講座の紹介

施設内では、ビデオ映像を用いて水辺の危険箇所などを学習し、屋外では、実際に川の中に入っての生物調査やカヌー乗船、ライフジャケットの着用やレスキューロープ投げなど体験しました。

ライフジャケットを着て生物調査(宝満川)



川の中での安全学習(那珂川)



調査報告(矢部川)







第1回

# 福岡県災害復旧実務講習会の報告

日時 平成29年4月21日(金) 10:30 ~ 16:20

場所 (公財) 福岡県建設技術情報センター3階 大研修室



平成29年度福岡県災害復旧実務講習会(第1回)(主催:福岡県河川協会)を開催し、県内市町村及び県土整備事務所から約110名に参加いただきました。

当講習会は、適正かつ迅速な災害復旧事業を推進するため、災害復旧の実務を行う担当者に向けて、年2回開催しています。

第1回目である今回は、災害復旧事業の基本原則や発災から申請までの流れ、設計や積算における留意点など、事業を実施する上で必要な基礎知識の習得を主としたプログラムとしました。

はじめに、平成28年災害復旧事業の総括として県内の災害査定件数が143件であったことを報告しました。

次に、「災害査定に関する留意事項」として平成28年災を踏まえた査定官及び立会官などからの指摘事項及び、「平成28年成功認定の総括」として近年

の災害事例を紹介しながら今後改善すべき点の確認を行うとともに、災害復旧工事にて希少野生生物への影響を低減するため、県の環境部局から「希少野生生物の分布情報の提供」について説明がありました。

また、国土交通省九州地方整備局や財務省福岡財務支局から現役の査定官(薄田検査官)と立会官(吉田監査官)を講師としてお招きし、災害査定の留意事項について、査定官及び立会官の立場から、現場経験者ならではの実話を交えた講義をいただきました。

本講習会は初任者から経験者まで幅広い方々に参加いただき、熱心に受講されている姿が印象的でした。次回の講習会も参加者がスキルアップできるように企画しておりますので、たくさんの方の参加をお待ちしております。

## 平成29年度福岡県災害復旧実務講習会(第1回)プログラム

1. 開会挨拶
2. 災害査定の留意事項について
3. 平成28年災害査定の総括
4. 災害復旧事業の基本原則について
5. 災害復旧事業の実務について
6. 防災エキスパート会の活動について
7. 希少野生生物の分布状況の提供について
8. 災害報告・目論見書の作成について  
(災害復旧管理システム)
9. 河川災害の留意点について
10. 道路災害復旧の留意点について
11. 改良復旧事業について
12. 平成28年成功認定の総括
13. 災害査定の留意点について
14. 質疑応答
15. 閉会挨拶



九州地方整備局  
薄田 技術検査官



福岡財務支局  
吉田 主計実地監査官



おに くら  
鬼 倉  
のり お  
徳 雄



食から始まる自然への感謝の気持ちを養う企画



## 【自然の大切さを伝える新たな手法???】

こ こ2回ほど、皆さんにご紹介した福岡県の重要湿地。「ちょっと箸を休めて、箸を使おう!」ということで、今回は、少し違ったお話をします。私の研究室では、毎年、様々な環境学習を行っております。毎年の定番は、福津市郷育推進課から依頼されて実施している郷育カレッジ。「津屋崎干潟の生き物を見てみよう」では、カブトガニやハクセンシオマネキなど、「玄界灘の魚たち、採ってさわって」では、シロギスやクロウシノシタなど、「西郷川の魚たち、採ってさわって」では、ドンコやヤマトシマドジョウなど。いずれの講座も子ども向けなのですが、小さいお子さんが参加される場合は保護者がかなり参加されます。この保護者の参加が、私の中では結構ポイントなんです。

こ れまで、様々な場所で自然観察会を行い、また、自然の大切さを訴えるための講演会などを行ってきました。当然ながら、自然の中で遊びたい子どもたちは、観察会にたくさん参加してくれます。また、現役を終え、地域についてもっと学びたいと感じられているような60歳以上の方々は、講演会によく参加してくれます。そして、そういった方々は、話をしっかり聞いてくれるし、

自然の大切さがとてもよく伝わっていると、こちらの方も実感できます。でも、残念ながら、私と同年代の方々が、単独あるいは同じ年代の方々と一緒に参加されることは、ほとんどありません。親子参加型の観察会のみです。平日は働き、週末は子育てに追われるわけですから、当然といえば当然です。この子育て世代をいかに取り込むか、それをずうっと考えてきました。

た またま、4月までの2年間、息子が通う小学校のPTA役員をさせていただいた関係で、近隣の小中学校のPTAとも仲良くなり、いろいろと話をする機会を得ました。そして、その交流を通して、子育て世代の関心がかなりの割合で「食」に向いていることを教わりました。そこで、九州大学社会連携事業として「食から始まる自然への感謝の気持ちを養う初等・中等教育との連携」という新企画を、昨年度やってみました。ある小学校では、PTA向けの研修として、「魚をさばく」講座を開催。私の方で魚を準備しなければいけませんので、人数は少なめに設定。15名程度の参加者を対象に、カマスの一夜干し、豆アジのみりん干し、マゴチの刺身、ヒラメの刺身…。結構、盛り上がりました。自然への感謝まで、参加者の気



持ちが発展したかはわかりませんが、少なくとも地産地消の意味や身近な自然の豊かさはご理解いただけたことでしょう。そもそも、持ち込んだ魚の多くは、津屋崎周辺で釣り上げてきたものからです。

**そ**の隣の小学校では、ひたすら、豆アジのみりん干しづくり。文化祭の食パザーで、来場者に焼いてふるまうといった企画だったため、相当量の豆アジを参加者のみなさんと一緒にさばきました。そして、週末開催の講座だったため、子どもたちも参加。学校がお休みだと、お母さん方は子どもの面倒を見ながらの参加となりますから。この講座の中での私の最大の驚きは、まだ小学生の子どもたちが、上手に包丁を使って、豆アジを背開き・腹開きにできていたこと。その魚をさばく小学生の周囲を、魚が気持ち悪くてさわれないお母さんがウロウロしている姿も…。それもまた滑稽で、すごく良かったです。この豆アジたちも、近所でサビキ釣りをして集めてきましたから、身近な海に食べられる魚がたくさん泳いでいることをきってご理解いただけたでしょう。

**と**いうことで、身近な海や川で捕まえてきた生き物を、実際に料理して食べてみるといった「自然の大切さを遠回しに伝える新たな手法」…。私のストレートな感想は、とても楽しい！とても楽しいんだけど、費用対効果、準備に要する時間、講座で受け入れ可能な人数などなどを勘案したとき、とても厳しかったし、しんどかった！子育てに翻弄されている世代の方々に、自然に関心を持ってもらう最も効果的な手法は、やはり親子参加型の自然観察会だと確信しました。子育て世代は、子どもに貴重な経験をさせたいわけですから、やはり子どもに自然を体験させながら、親子でともに学ぶのがベストですね。

**「ち**ょっと箸を休めて、箸を使おう！」ということで、食を通した企画を紹介しましたが、この手のプログラム、大学生向けは継続です。実際に、宿泊型実習では、期間中に採れた川の魚を唐揚げで、海の魚を刺身にして食べさせてますし、形態の観察や解剖などを行う基礎生物学実験では、その観察後の魚を材料に、腹開き・背開き

を教えて干物にして、持ち帰らせています。自炊している学生も多いですから、食から始まる自然への感謝の気持ちを養う企画は、当面は大学生だけにとどめておこう！最後に、各学校のPTA役員の方々、ご協力ありがとうございました。とてもいい勉強になりました。



おにくら のりお  
**鬼倉 徳雄** — NORIO ONIKURA —

- 九州大学大学院農学研究院・准教授
- 日本水環境学会九州支部・評議委員
- 日本魚類学会自然保護委員・学会賞選考委員
- 応用生態工学会評議委員・編集委員

主な著書／

- 生きざまの魚類学  
魚の一生を科学する (猿渡敏郎編著)
- 見えない脅威“国内外来魚”  
(日本魚類学会自然保護委員会編)



# おめでとうございます。

## 第19回日本水大賞「大賞」受賞 久留米市立金島小学校 創作劇「とこしま堰物語」の公演活動 ～地域の資源(筑後川)を活かした教育活動～



日本水大賞委員会(名誉総裁:秋篠宮殿下)では、水循環の健全化に貢献する様々な活動を行っている学校や団体の活動を対象に特に優れたものを表彰しており、第19回日本水大賞の「大賞」受賞者を久留米市立金島小学校に決定しました。

久留米市立金島小学校では、私財や命を賭けて床島堰を完成させた5人の庄屋の偉業を実地で学習し創作劇として上演することを、20年にわたり続けられています。



久留米市立金島小学校  
創作劇  
「とこしま堰物語」

### 日本水大賞グランプリ受賞報告会

- 日時** 平成29年7月15日(土)14:00～16:00
- 場所** 筑後川防災施設「くるめウス」(久留米市新合川一丁目1-3)
- 概要** 日本水大賞グランプリ受賞報告(金島小学校)  
1 筑後川とともに生きる ～とこしま堰物語  
2 授賞式報告

平成29年度「僕たち私たちの河川愛護活動報告会」のなかで行われます。

### 日本水大賞表彰式・活動発表会

- 日時** 平成29年7月11日(火)13:00～
- 場所** 日本科学未来館(東京都江東区)



### 編集 後記

7月は川沿いの緑が益々濃くなります。今年の日本水大賞は県内の小学校でした。水防災意識社会再構築ビジョン協議会の開催。「川とさかなを知ろう」では「新たな手法???」。目に見えないところで少しずつ積み重ねが続いているということか。表紙の写真は、うきは市の災除川 (古賀)

### ◆ STAFF

発行・編集 福岡県河川協会(福岡県県土整備部河川課内)  
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7  
TEL:092-633-2826(直通)  
FAX:092-643-3669  
企画 正光印刷株式会社

福岡県河川協会ホームページ

<http://www.fukuoka-pref-kasen.jp/kasenkyokai/>

